【東地区】 あずま地区協議体

令和６年８月

【活動紹介】

「創作落語 DE 認知症！」
親しみやすい落語の形で認知症について学びました！

もしものときの意思表示を元気なうちに考える「エンディングノート」についても学びました

【現在の取り組み状況】

あずま地区協議体は平成 29 年 3 月に発足し、現在は、買い物支援、ふれあいの居場所作り、有志による粗大ごみの搬出支援等の住民主体の助け合い活動について協議を重ねております。

令和6年度に入り、活動が盛んな地域では工夫を凝らしたイベントも行われました。4月には、落語によって認知症を学ぶイベント「創作落語 DE 認知症！」が2つの会議所で開催され、7月にはもしもの時の意思表示について考える「エンディングノート出前講座」が開催されました。

今後も、あずま地区における住民主体の共助・互助の活動について、

「 手をつなぎ お互いが支えあう 地域づくり 」をスローガンに

地域住民の皆様のご理解を頂きながら進めて参ります。